信金中央金庫

「しんきんグリーンプロジェクト」の取組みについて

2025年２月７日

信金中央金庫　サステナビリティ推進部
上席審議役兼グリーンプロジェクト推進室長
広沢　将之

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

目次

信用金庫および信金中金 P.3

１．しんきんグリーンプロジェクトの概要 P.4 ～ 7

２．しんきんグリーンプロジェクトの主なサポートメニュー P.8 ～ 23

３．Appendix P.24 ～ 26

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

信用金庫および信金中金

信用金庫

金庫数	２５４金庫
預金量	１６１兆円
店舗数	７，０７７店舗
役職員数	９万７千人
会員数	８７８万人

∞

信金中金

資金量	３４兆円
拠点数	国内１４店舗 海外６拠点
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社	９社
役職員数	１，２６３人

※２０２４年３月末時点

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

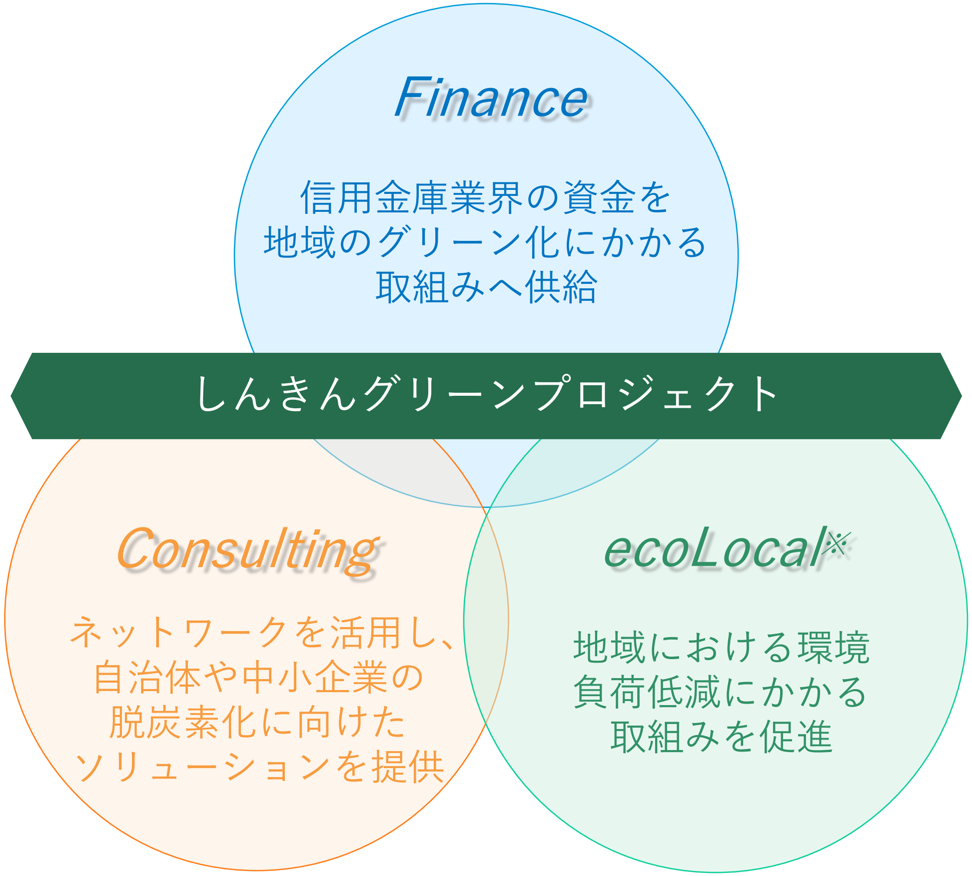
1．しんきんグリーンプロジェクトの概要

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

しんきんグリーンプロジェクトの概要

SCB

- 2022年４月から、信用金庫業界独自のグリーン戦略として、「しんきんグリーンプロジェクト」を始動



2030年までに実現

信用金庫が地域社会における**カーボンニュートラル実現のキープレーヤー**となる

↓

「信用金庫＝グリーン」のブランドイメージ定着

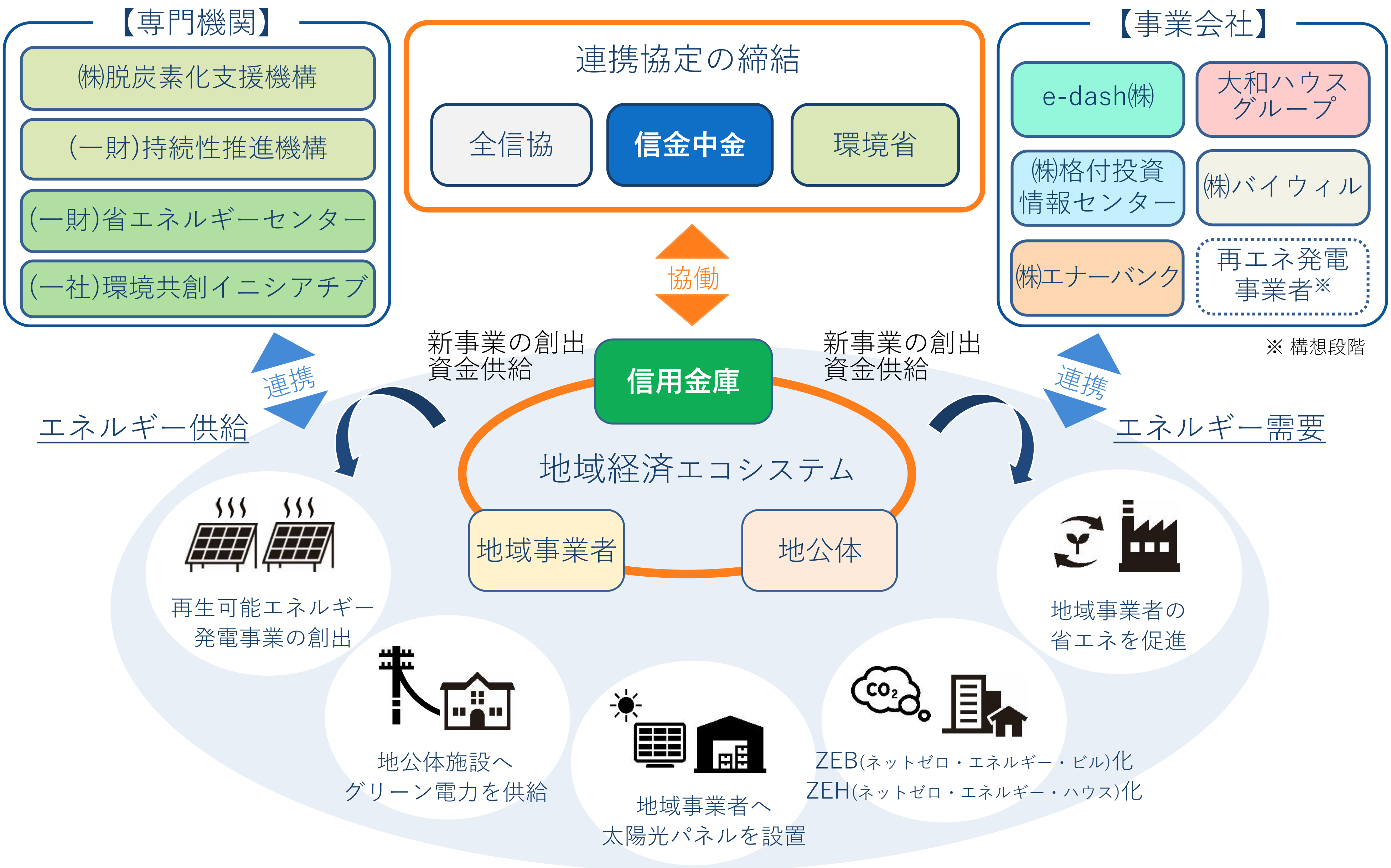
↓

信用金庫が地域において最も信頼される金融機関となる

※ecoLocal（エコロカル）：「環境に優しい（ecology）」と「地域（local）」を組み合わせた造語

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

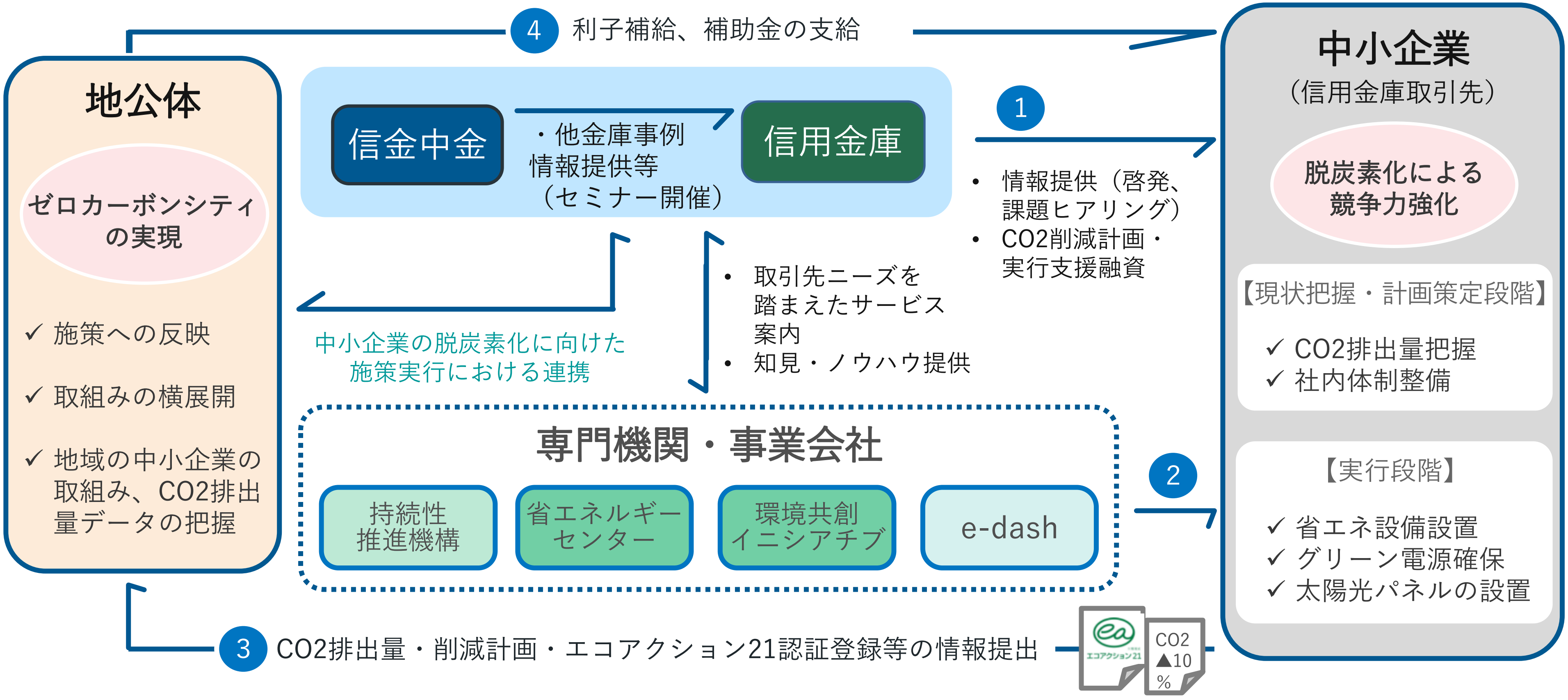
脱炭素社会の実現に向けた連携の枠組み



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

中小企業の脱炭素化支援

- 信用金庫は、取引先に対し、① 情報提供や支援サービス・融資を提供
- 信用金庫・信金中金は、② 脱炭素化に向けた支援機能を提供
- 中小企業は、③ 情報提出等により地公体から ④ インセンティブを受領



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

２．しんきんグリーンプロジェクトの主なサポートメニュー

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

しんきんグリーンプロジェクトの主なサポートメニュー

SCB

中小企業の対応	脱炭素化にかかる主なサポートメニュー
STEP1 全社的な意識統一	信用金庫からの情報提供（脱炭素セミナー開催等）
STEP2 現状把握（見える化）	1 CO_2排出量算出クラウドサービス（e-dash）
STEP3 目標・計画策定（省エネ・再エネ）	2 省エネ診断（省ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾝﾀｰ/環境共創ｲﾆｼｱﾁﾌﾞ） 信用金庫による計画策定支援
STEP4 対応策の実行	4 省エネ・再エネ設備支援（大和ハウス） 5 電力調達プラットフォーム（エナーバンク） 6 サステナブルファイナンス（SLLFW、サポートツール） 7 J-クレジット創出支援（バイウィル） 8 信用金庫による事業者マッチング支援

3 エコアクション21（持続性推進機構）（STEP1～STEP3）

需要

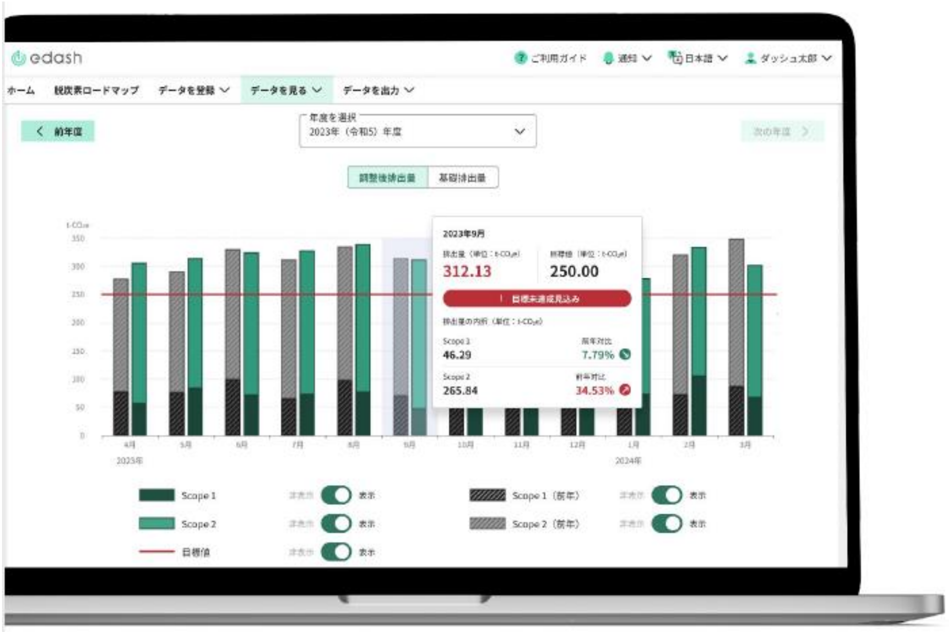
供給
- 9 脱炭素化支援機構（JICN）との連携によるサポート
- 10 再エネ発電事業等にかかるサポート【構想段階】

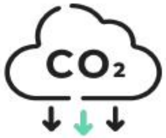
（注）本サポートメニューにつきまして、取扱いの可否・時期等は、信用金庫毎に異なります。

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

- CO_2排出量算出クラウドサービス「e-dash」の活用により、請求書をアップロードするのみでCO_2排出量を手軽に自動で算出することが可能
- 国際基準に準拠した正確な算出を行っており、国内初となる大手監査法人による第三者検証も実施

【「e-dash」サービスの概要】





誰でも手軽に取り組める
CO_2排出量の**可視化**

取り組みの道標となる
CO_2排出量の**削減目標の設定支援**

取り組み方のアドバイザリーをはじめ
具体的なCO_2排出量の**削減提案**

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.
（出所）e-dash株式会社公表資料より信金中央金庫作成

- 省エネ診断は、国が費用の９割を補助しており、事業者は１割の負担で診断が可能

名称	省エネ最適化診断	省エネクイック診断	省エネお助け隊
執行団体	（一財）省エネルギーセンター（ECCJ）	（一社）環境共創イニシアチブ（SII）	
診断機関	（一財）省エネルギーセンター（ECCJ）	登録診断機関	省エネお助け隊
特徴	✓ **事業所全体**の診断 ✓ 「IoT診断」でデータに基づく**詳細な診断も可能**（別料金）	✓ **１設備**から診断可能 ✓ **短時間**で診断を実施	✓ **事業所全体**の診断 ✓ 診断後の設備導入等まで**一貫サポート** ✓ **補助金・税制情報**もご案内
費用	10,670～23,760円	5,500～16,500円※	7,304～25,564円※
主な対象者	✓ 事業所全体のエネルギー使用状況を把握したい企業	✓ 特定の設備だけ診断したい企業	✓ 事業所全体のエネルギー使用状況を把握したい企業

※　効果測定コース・カスタム診断については別料金設定あり

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

（出所）一般社団法人環境共創イニシアチブおよび一般財団法人省エネルギーセンターの資料より信金中央金庫作成

【STEP 3】「省エネお助け隊の診断」の事例

- さがみ信金では、取引先からプラスチック製品の製造設備の更改等を相談された際、環境共創イニシアチブが提供する「省エネお助け隊」による省エネ診断の受診を提案
- 当法人では、診断に基づき、補助金を活用したLED照明の入替えに着手した結果、CO_2排出量は年間7.8トン、エネルギー費用は年間32.1万円の削減を見込む。

「省エネお助け隊」による省エネ診断の概要

- 「省エネお助け隊」では、施設内全体を隅々まで診断
- 電力に特化した省エネ化を提案し、補助金の活用も助言

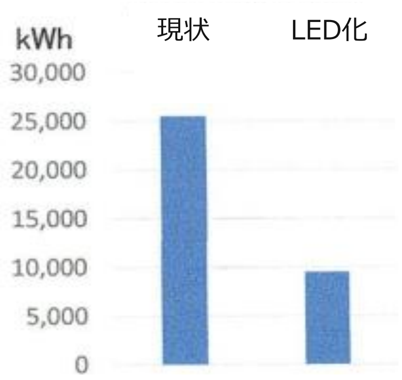
社会福祉法人　足柄緑の会（神奈川県南足柄市）	
【設立年月日】	1997年１月22日
【事業内容】	指定障害福祉サービス事業、相談支援事業、地域生活支援事業等
【運営施設】	就労移行支援施設、生活介護施設、共同生活援助施設等

取組みの概要	
【2022年度】	・就労移行支援施設「コスモス学園中沼ジョブセンター」の診断を受診
【2023年度】	・2022年度の診断結果に基づき、補助金を活用したLED照明の入替を実施 ・生活介護施設「コスモス学園中沼ケアセンター」の診断を受診

省エネ診断による結果

- LED照明の入替えにより、年間消費電力量は大幅な削減を見込む
- 診断結果の報告会には、さがみ信金も同席の上、情報を共有

【年間消費電力量の概算】

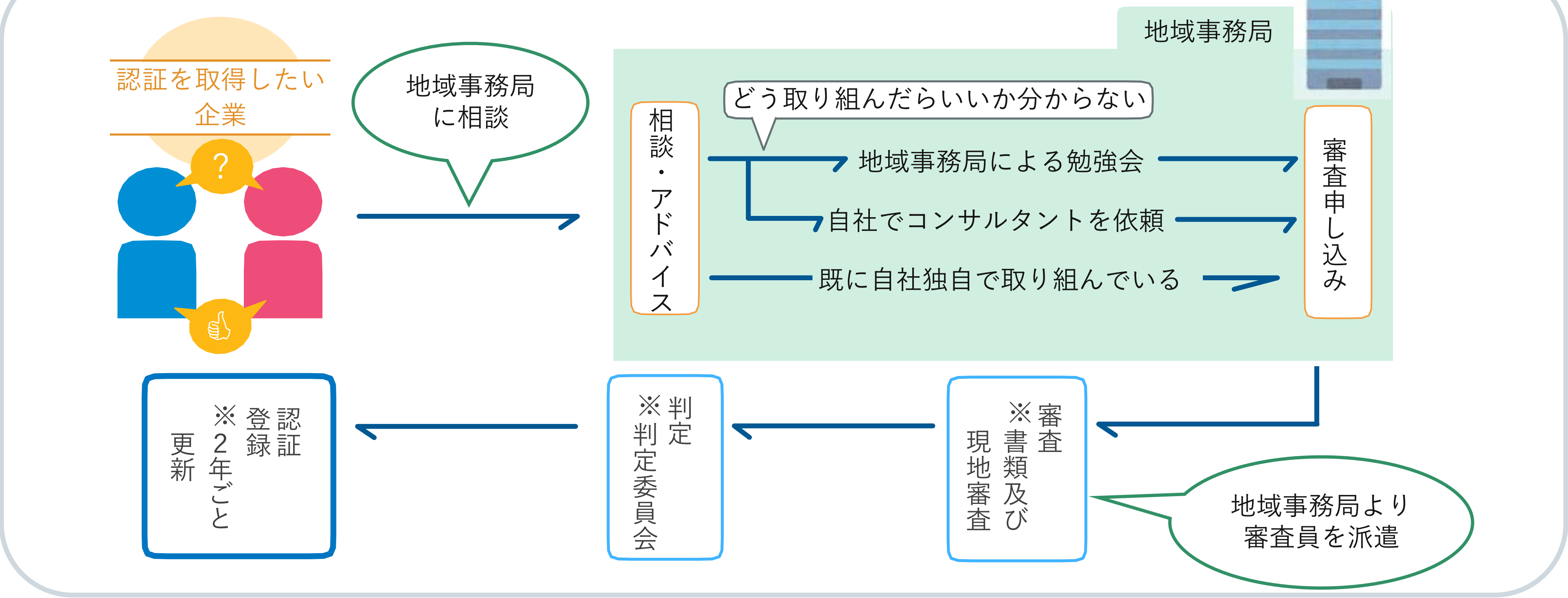


【さがみ信金（左側）・足柄緑の会（右側）】

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

- (一財)持続性推進機構が実施する「エコアクション21」は、環境省が策定した総合的な環境マネジメントシステムである
- 認証を取得したい企業に対し、本機構の地域事務局が相談から認証・登録に至るまで、総合的にサポートを実施

【エコアクション21認定取得までの流れ】



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

【STEP1～3】「エコアクション21」の事例

③

• 西武信用金庫と相模原市は、2022年８月に「脱炭素社会の実現に関する連携協定」を締結

• 本協定により、当金庫の職員が脱炭素社会の実現に向けた環境経営について学ぶとともに、市内事業者の先導者となってEA21の普及促進を実施

脱炭素社会の実現に関する連携協定

【主な協力事項】

- ✓ 西武信金庫職員が市内事業者のEA21認証登録を推進
  →**地域金融機関と地公体によるEA21の推進体制の構築は全国初！**
- ✓ 脱炭素に取り組む市内事業者へのアドバイザー派遣
- ✓ 市内のEA21認証登録事業者に対する融資金利の優遇
- ✓ 市内事業者を対象とした、セミナー等の開催

制度融資の金利優遇

【対象企業】

- ✓ 「相模原市中小企業融資制度等」を利用できる事業者
- ✓ **EA21認証を取得して「認証・登録証」を提示可能な事業者**

【優遇内容】

- ✓ 下限金利を0.1％として**最大0.3％優遇**

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

（出所）西武信用金庫および相模原市の公表資料より信金中央金庫作成

【STEP 4】対応策の実行｜大和ハウスグループ

④

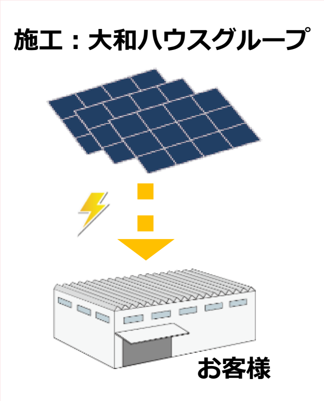
- 中小企業に対し、再生可能エネルギー電源や省エネルギー設備等の脱炭素化に資するソリューションを提供
- グループ４社※が連携し、予算・保有する設備の規模に応じ、それぞれの企業に適した設備等を提案することが可能

※ 大和ハウス工業㈱・大和エネルギー㈱・エネサーブ㈱・大和ハウス賃貸リフォーム㈱

【提供サービス】

＜ベーシックプラン（再エネ・省エネ設備の導入）＞

①自家消費太陽光

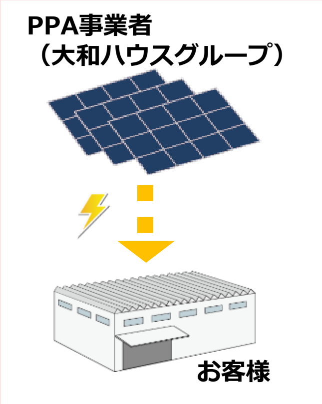


②LED照明

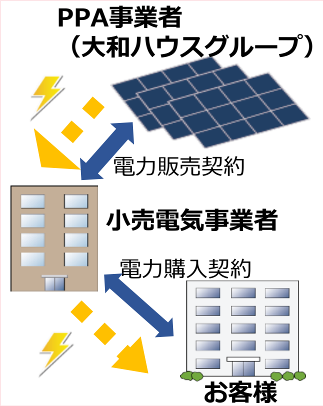
③高効率空調

＜アドバンスプラン（電力の購入）＞

④オンサイトPPA



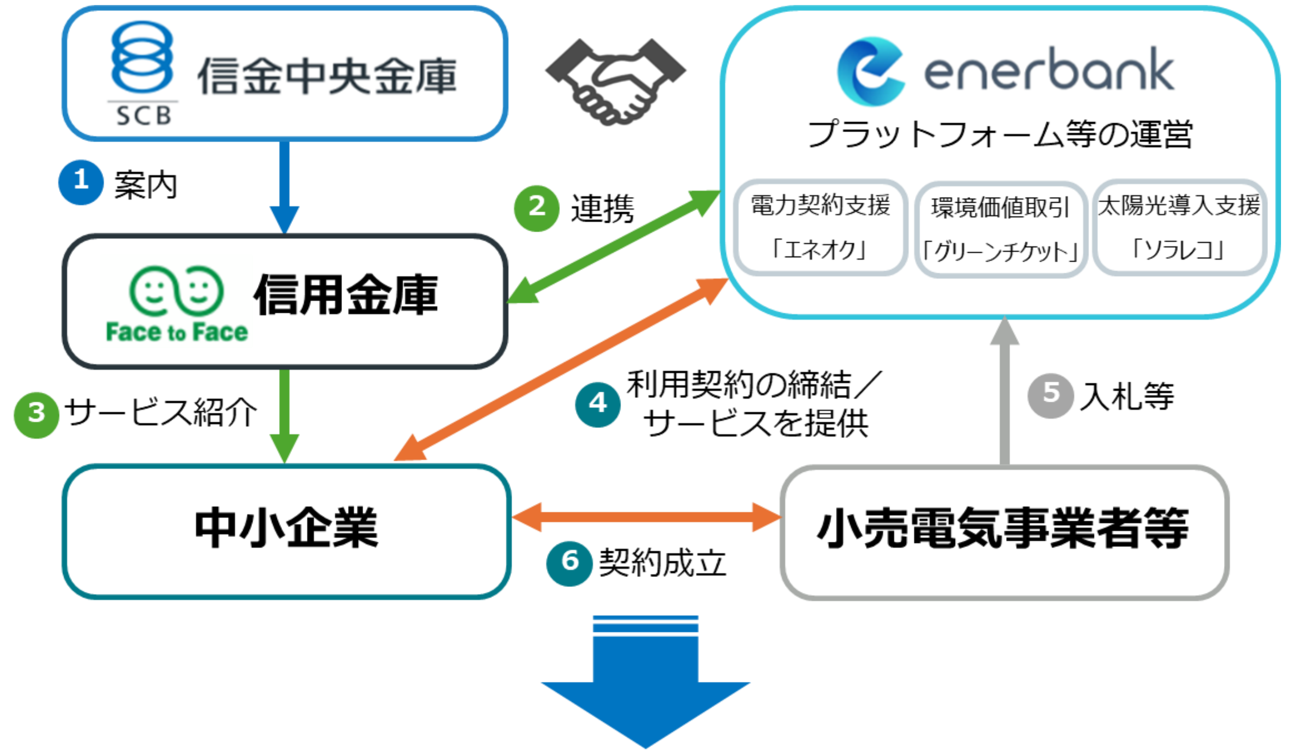
⑤オフサイトPPA



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

- 中小企業における「再エネ電力の安価な調達ニーズ」に対し、㈱エナーバンクが提供する電力調達プラットフォームで中小企業および小売電気事業者等をマッチングすることにより、脱炭素化・コスト削減にかかる課題解決を実現

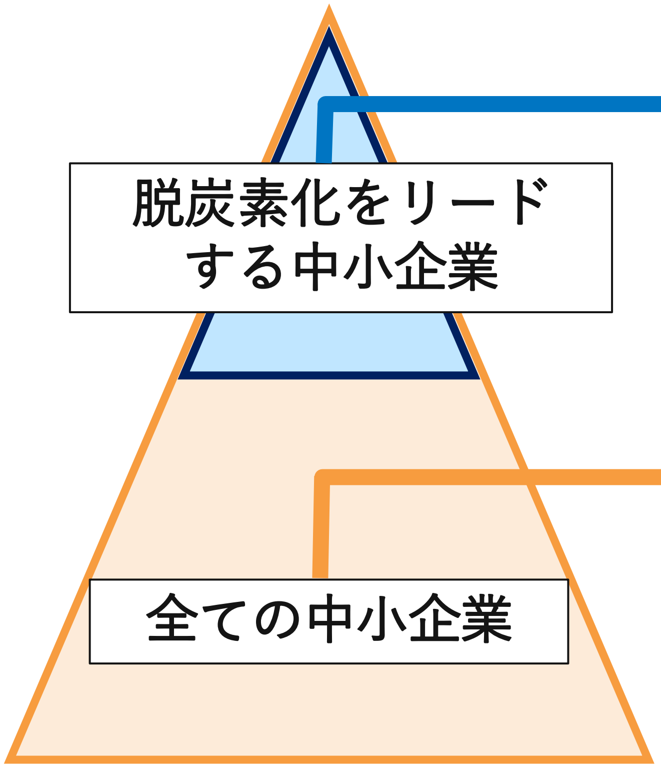
【提供サービス】



再エネ電力等の安価な調達による脱炭素化

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

- 信金中金では、中小企業の脱炭素化の取組状況に応じて、２種類のサステナブルファイナンス商品の組成サポートを提供



信用金庫業界におけるサステナブルファイナンスの裾野を拡大

SLLフレームワーク（2023年８月～）

- ✓ 事業活動におけるサステナビリティ目標（CO2排出量の削減等）を達成することで、インセンティブ（金利引下げ等）を付与
- ✓ ESG評価機関によるオピニオンを取得

簡易版の脱炭素化融資商品（2024年９月～）

- ✓ 信金中金が提供する脱炭素化ソリューション（e-dash・省エネ診断・EA21・大和ハウス等）を導入する事業者にインセンティブ（①金利・手数料等の優遇、②環境関連の寄附等）を付与
- ✓ 国際的な原則・ガイドラインに準拠する必要がないため、各信用金庫において、柔軟な商品組成が可能

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

【STEP 4】サステナブルファイナンスの事例① ⑥

SCB

- 鹿児島相互信用金庫では、幅広い事業者の脱炭素経営を支援するべく、信金中金が提供するひな形を活用し、簡易版の脱炭素化融資商品を組成
- 融資商品の取扱開始前には、当金庫職員向けに勉強会を開催し、脱炭素の動向および融資商品にかかる理解を高めていただく

簡易版脱炭素化融資商品組成の進め方

① 商品組成に当たっての対応事項の洗い出し

↓

② 商品概要の設計

↓

③ 業務フロー・手続きの制定

↓

④ 商品取扱開始のニュースリリースを公表

↓

⑤ 個別案件の実行

↓

⑥ 伴走支援

「そうしん脱炭素サポートローン」

項目	内容
商品名	そうしん脱炭素サポートローン
取扱開始	令和6年 11 月5日
対象	法人または個人事業主
条件	脱炭素に資するメニュー(e-dash、省エネ診断、エコアクション 21 等)を導入済みの先 または融資申込みと同時に導入する先
資金使途	運転資金・設備資金
融資金額	3億円以内
融資期間	運転資金:10 年以内 設備資金:15 年以内
融資利率	短期プライムレートを基準とした変動金利 当金庫所定の利率より年 0.2%優遇
手数料	当金庫所定の手数料

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

【STEP 4】サステナブルファイナンスの事例②

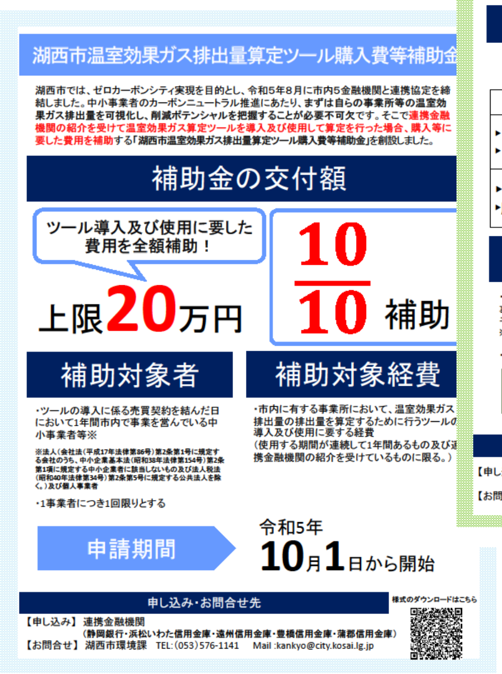
- 静岡県内の金融機関では、静岡県湖西市内の事業者に対するカーボンニュートラルを推進し、湖西市のゼロカーボンシティ実現と持続的な地域の発展を目指す

湖西市との連携協定金融機関

- ✓ 浜松いわた信用金庫
- ✓ 遠州信用金庫
- ✓ 豊橋信用金庫
- ✓ 蒲郡信用金庫
- ✓ しずおかフィナンシャルG（静岡銀行）

各種補助金

- ✓ PIF・SLL補助金



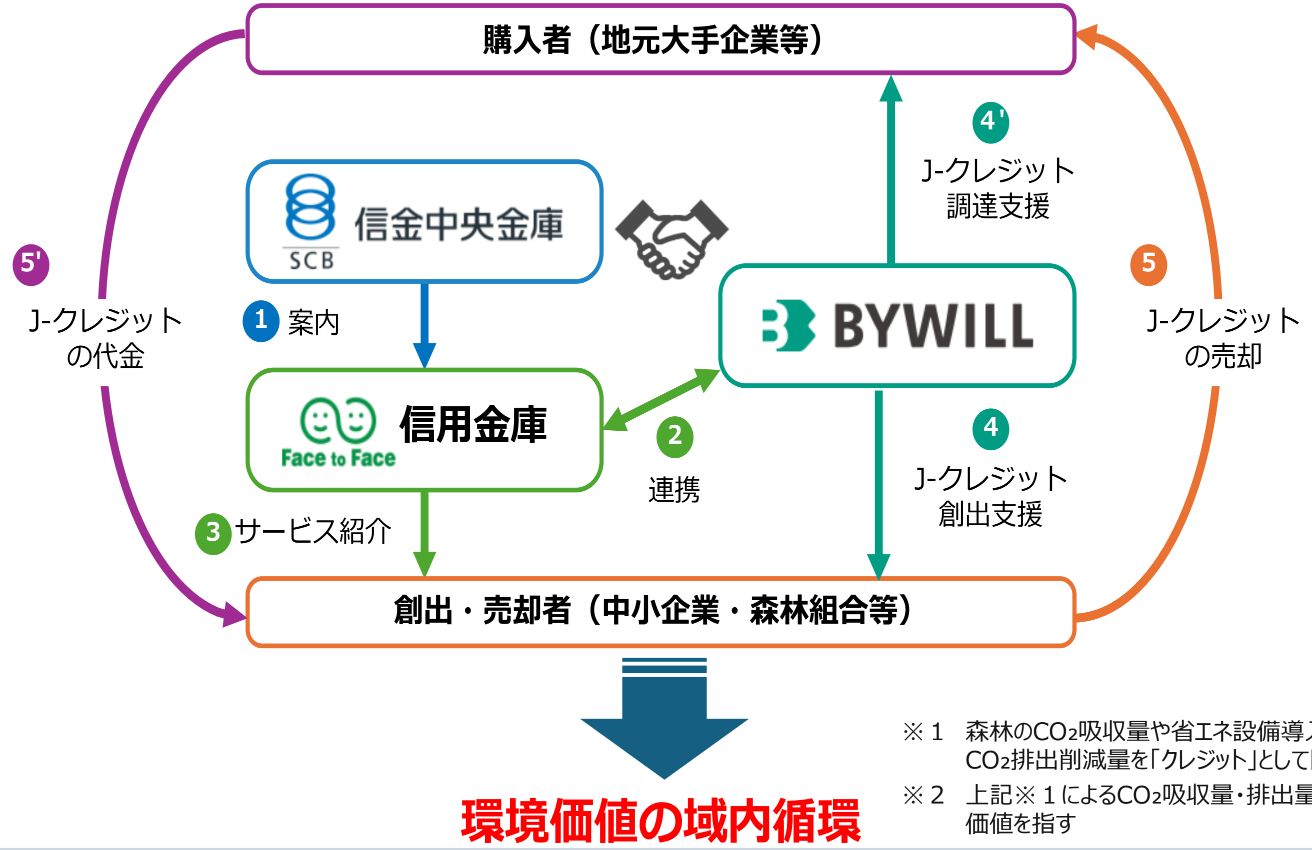
- ✓ CO_2可視化補助金

（出所）湖西市HP・浜松いわた信用金庫プレスリリースより信金中央金庫作成

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

- J-クレジット※1の活用による環境価値※2の域内循環を実現するため、㈱バイウィルと連携し、環境価値の創出・売却者（中小企業・森林組合等）および購入者（地元大手企業等）間の売買等の手続きをサポート

【提供サービス】



※1 森林のCO_2吸収量や省エネ設備導入・再エネ利用等によるCO_2排出削減量を「クレジット」として国が認証する制度

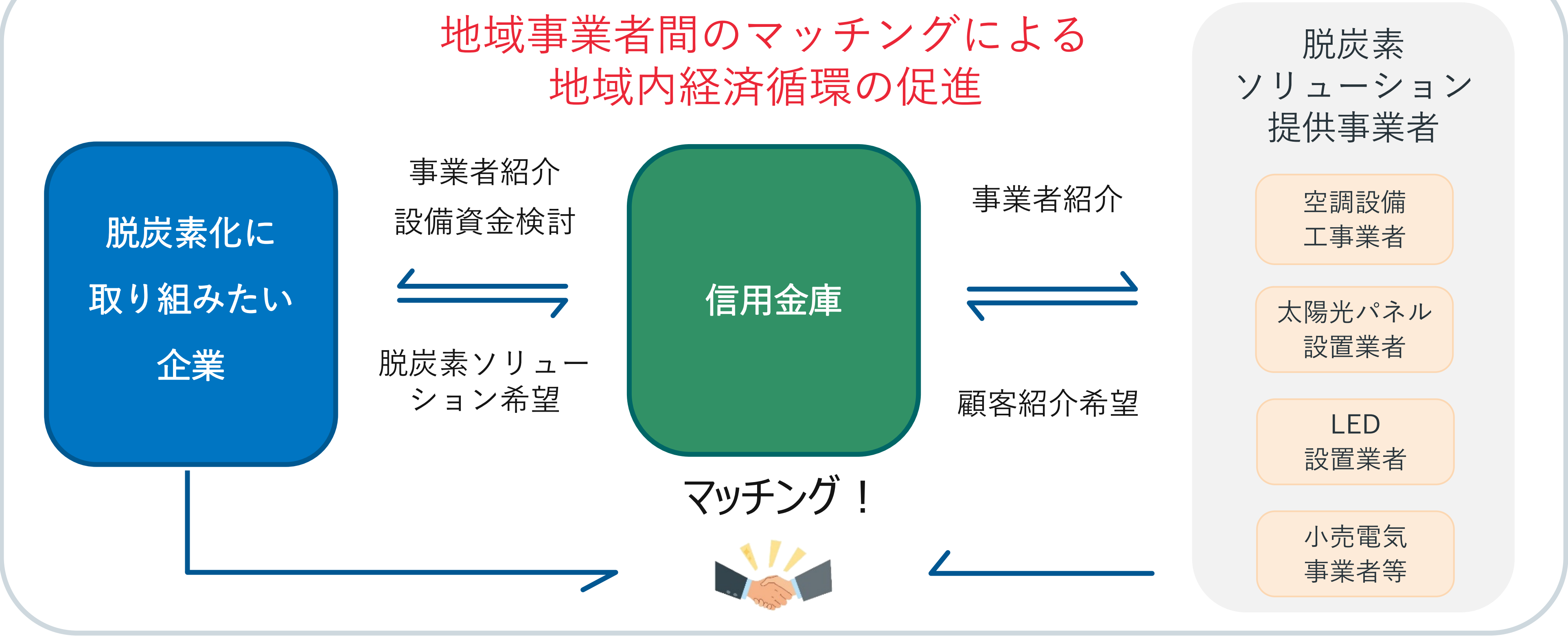
※2 上記※1によるCO_2吸収量・排出量削減効果等の付加価値を指す

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

SCB

- 信用金庫会員事業者のネットワークを活用した地域事業者間のマッチング実施により、地域内経済循環を促進

【信用金庫会員企業のマッチングイメージ】



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

㈱脱炭素化支援機構との連携による支援｜本機構の概要等 供給面 ⑨

- ㈱脱炭素化支援機構は、国の財政投融資と民間からの出資を原資として、脱炭素化に取り組む事業を出資等により支援
- 本機構は、再生可能エネルギー発電事業のほか、脱炭素化に資する幅広い分野・形態の事業を支援対象としている

【本機構の概要】

会社名	株式会社脱炭素化支援機構
設立日	2022年10月28日
資本金規模	289億円 ・国：180.5億円・民間：108.5億円を出資 ・信金中金は民間トップクラスの５億円を出資
支援方法	出資（株式等（出資比率１/２以下））、メザニン、債務保証等
支援対象	脱炭素にかかる事業全般（再エネ発電事業、省エネ事業等）

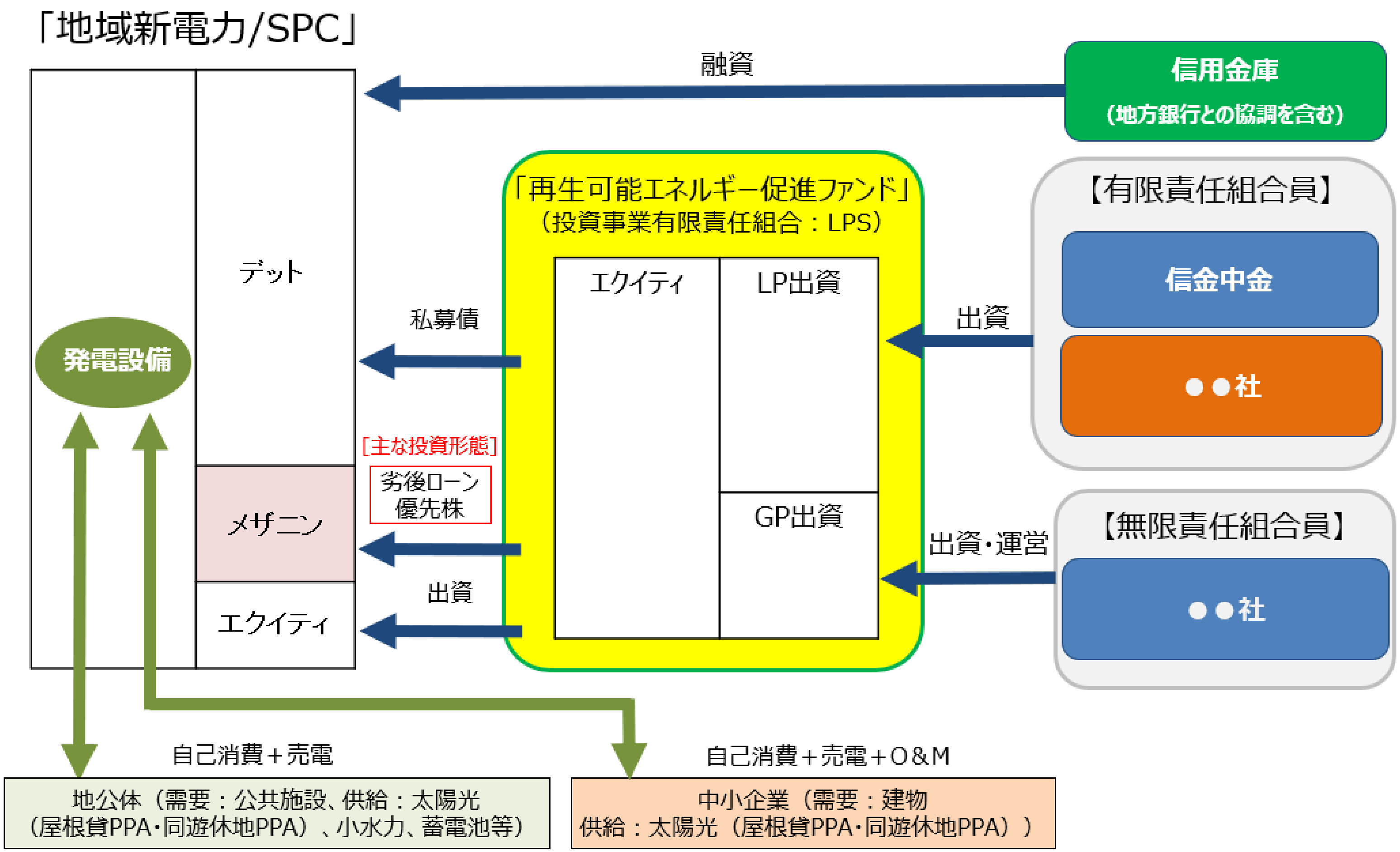
JICN 株式会社脱炭素化支援機構

2024年３月末時点

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

再生可能エネルギー発電事業の促進

- 信用金庫が出資等で関与する「地域新電力」の再生可能エネルギー発電事業等について、信用金庫とともに金融・非金融の両面から脱炭素化事業を支援



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

3．Appendix

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

脱炭素化の取組事例①（浜松いわた信用金庫取引先）

- 再エネ導入やグリーン電源の購入により、競争力確保・人材獲得を実現

国本工業株式会社（静岡県浜松市）
ーカーボンニュートラル時代を見据えた経営戦略ー

生産性向上

国本工業株式会社

企業概要

事業内容	自動車部品（パイプ加工品）の製造、金型の設計・製作など				
設立	1970年	資本金	1,000万円	従業員	71名

経営戦略・狙い

- 世界情勢や自動車業界の動向などにアンテナを高く張り、自動車の電動化に対応した部品開発やカーボンニュートラル対応など、将来を見据えた経営戦略を展開。
- 社員とは定期的にコミュニケーションの機会を設け、当社が直面する課題などを共有。

カーボンニュートラルに貢献する取組

- 工場に太陽光発電を設置するとともに、グリーン電力を購入することで、自社で消費するエネルギーのカーボンニュートラル化を達成。
- 社員による日々の作業効率の改善で、生産性の向上と使用電力の更なる削減を図る。
- 今後は、スコープ3（トラックでの物流、従業員の出勤時など）の排出削減も検討。

経営に与えるインパクト ー企業競争力の向上ー

- 取引先からのCO2削減要請にも柔軟に対応。
- 取引先に対しては、競争力のある価格（自動化等の生産性向上）だけでなく、環境に配慮した製品（カーボンニュートラルで生産）であることも訴求。実際に、環境に配慮しているかどうかが調達の前提になりつつあると実感。

<工場内に設置された太陽光発電システム>

- 最近では、環境面に関心を持つ学生が増加傾向。先行的に環境対応を進めることで、新規採用においては、継続的な人材確保につながっている。

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

（出所）経済産業省資料「カーボンニュートラルと地域企業の対応」より信金中央金庫作成

脱炭素化の取組事例②（飯能信用金庫取引先）

- 高度な塗装技術の開発および先行投資を通じて、業界を牽引

久保井塗装株式会社（埼玉県狭山市）
ー工業塗装の現場で取り組める最高効率の実現ー

生産性向上

企業概要						
	事業内容	工業塗装（自動車部品、建築金物、家電製品、航空宇宙部品等）				
	設立	1965年	資本金	5,300万円	従業員	16名

経営戦略・狙い

- ■ 従前から同業他社に先駆けて環境問題に取り組み、環境負荷低減の努力を積み重ね。
- ■ サポインやものづくり補助金を活用し、付加価値の高い塗装技術の開発に挑戦。
- ■ 当社のノウハウは、他社へのコンサルティングを通じて工業塗装業界の発展にも貢献。

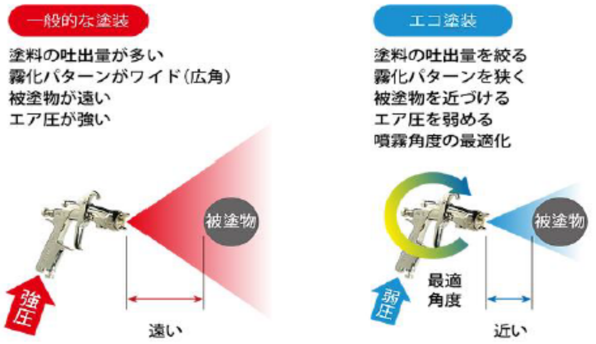
カーボンニュートラルに貢献する取組

- ■ カーボンニュートラル、100%リサイクルが今後の経営に欠かせないと判断し、2035年までに、脱炭素・廃棄物ゼロの実現を目指す。
- ■ 工場内の主要設備の電気使用量の把握や、塗着効率の改善などに着手。
- ■ 計画中の新工場では、再エネの導入、未利用エネルギーの有効利用等を検討中。

経営に与えるインパクト ー企業競争力の向上ー

- ■ 環境負荷が高いといわれる塗装工程において、エコ塗装技術や機能性を有する塗装技術を強みとして、業界内でトップランナーとしての地位を確立。
- ■ 今後、環境負荷低減の取組が社会や市場から求められていくと予想し、新技術開発やIoT等、先行投資することで、新規顧客の獲得につなげる狙い。

<環境負荷低減につながる技術開発例>



Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.

信金中央金庫

- 本資料は、信用金庫等の関係者を対象に、情報提供のみを目的として作成しています。

- 本資料は、作成日時点における情報に基づいて作成していますが、将来内容が変更されることもあり、本資料上のサービス等の提供等の履行を約束するものではありません。また、本資料に記載の情報によって生じたいかなる損害についても本中金は一切の責任を負いかねます。

- 本資料は、記載された取引の一般的説明を目的とするものであり、具体的な取引の条件を提示するものではありません。本資料は、本中金固有の著作物です。信用金庫等の関係者で利用することのみを目的として作成しており、信用金庫等の関係者以外の第三者に対し開示する権利を信用金庫等の関係者に付与するものではありません。本資料に記載する全ての事項について、本中金の許可なく複製、配布または転用することを禁止します。

【お問合せ先】
信金中央金庫　サステナビリティ推進部
住所：〒103-0028　東京都中央区八重洲１丁目３番７号
ＴＥＬ：０３（５２０２）７６２５
ＵＲＬ：https://www.shinkin-central-bank.jp

Copyright©2024ShinkinCentralBank.AllRightsReserved.